

平成31年（2019年）3月25日

山形大学EDGE-NEXT発：ベンチャーを育てる会社設立 ～インキュベーションポートやまがた～

【本件のポイント】

- 山形大学EDGE-NEXT人材育成プログラムから生まれた受講生のビジネスアイデアを磨き、社会実装する会社を設立する。
- 事業運営に必要な財源を山形大学EDGE-NEXT人材育成プログラムの参加者・関係者から調達し、同プログラムや関係機関、専門家集団とも連携して事業案件を支援する。
- 有望な事業案件は自立し、会社化することで更なるスケールアップを図る。



【概要】

インキュベーションポートやまがた(以下、iPY とする)は、山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム※から生まれたビジネスアイデアを磨き、社会実装する学生を支援することを目的に設立しました。これまで、各教育機関で起業家育成を目的とした教育が行われてきましたが、起業に踏み出せない学生がほとんどでした。その理由として、自己資金の不足、失敗したときのリスクなどが挙げられます。今回設立する iPY では、学生が起業に挑戦しやすい場の提供、起業を支援するための挑戦資金の確保などを行っていきます。日本で起業する学生を増やし、世界で通用するような事業の創出を目指します。

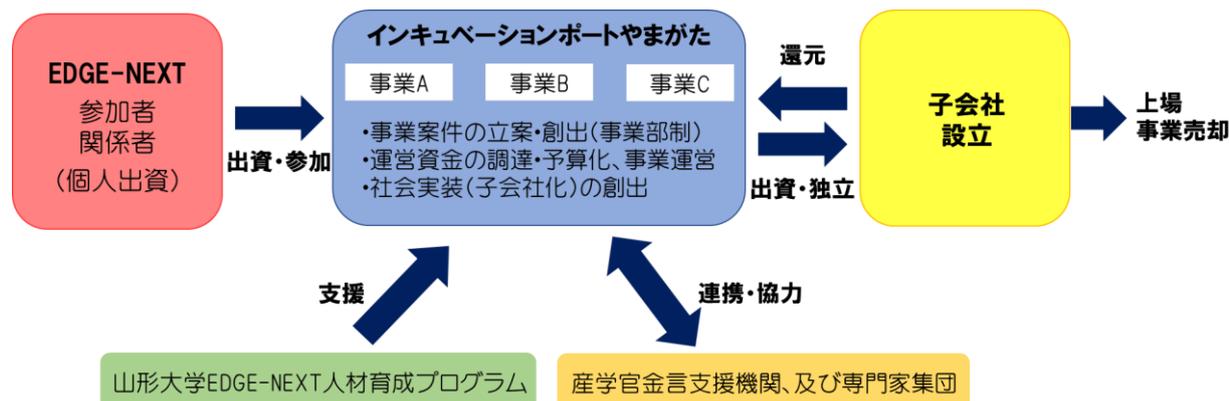
【背景】

近年、政府による起業家人材の育成を含めたベンチャー創出力を強化する方向性が打ち出され、文部科学省では起業や新事業創出に挑戦する次世代を担う人材の育成を目的とした事業が行われています。そこでは、大学生を中心とした受講者に対して、アイデアの創出やビジネスモデルの構築を目的としたプログラムが実施され、これらにより、起業に挑戦する人材が増加することが期待されています。しかし、日本では起業に挑戦する学生への資金面及び知識面での支援が未だに不十分です。今後、起業に挑戦する学生の増加に伴い、自分のアイデアを構築及び実践する場を作ることが急務です。

【iPY の会社概要】

iPY では、アイデアから事業へと展開するために必要な知識及び技術の提供、またメンタリングを実施することで起業に挑戦するための支援を行います。

〈運営イメージ図〉



配布先：工学部長記者懇談会

〈名称〉

インキュベーションポートやまがた株式会社

〈所在地〉

山形県米沢市城南4丁目3-16

〈設立年月日〉

2019年3月22日（予定）

〈主な事業内容〉

イベントの企画及び運営

各種製品やソフトウェアの研究開発、製造、販売 他

〈2019年4月以降支援する事業案件〉

- ・山形の地域資源のブランディング
米沢市：米沢織、飯豊町：日本酒
- ・代行アプリ

〈役員構成〉

宇田 恭太：代表取締役兼 CEO（山形大学大学院 理工学研究科博士前期課程）

遠藤 光起：取締役兼 CFO（山形大学大学院 理工学研究科博士前期課程）

安孫子 眞鈴：取締役兼 CTO（山形大学 工学部 4年）

村上 和隆：取締役兼 CIO（山形大学 理学部 2年）

阿部 公一：取締役兼 CMO（山形大学 工学部 4年）

戸田 達昭：社外取締役（シナプテック(株) 代表取締役、山形大学 EDGE-NEXT コーディネーター）

廣川 克也：監査役（SFC フォーラム 事務局長、山形大学 EDGE-NEXT コーディネーター）

※山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム

文部科学省平成29年(2017年)度次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)に、早稲田大学を主幹校とし、滋賀医科大学、東京理科大学、山形大学を協働機関、多摩美術大学、富山県、株式会社本田技術研究所、一般財団法人大川ドリーム基金ら31機関を協力機関とするコンソーシアム「EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成」が採択されました。

本コンソーシアムでは、EDGE-NEXT プログラムでの成果を基盤に、参加機関の強みや国内外の産学官の英知を結集して、専門的基礎能力を有し、鋭利な発想、体系的な方法論により新たな市場を開拓します。

「グローバルリーダー」、「地域貢献」を体現するアントレプレナー人材のすそ野拡大に向けた「Future-EDGE 人材」と、実際の起業・新規事業創出に向けた「EDGE-NEXT 人材」を分離融合で養成します。

山形大学では、現在、起業家育成教育プログラム（実践編・基礎編）、地域連携起業家育成教育、英会話研修やプログラミング教室などを実施しています。

お問い合わせ

山形大学国際事業化研究センター長 小野寺忠司

TEL 0238-26-3480 メール yu-edge@yz.yamagata-u.ac.jp